

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
338 生活衛生安全推進事業(遊泳用プール等)

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	1	衛生管理等の促進と監視の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		環境衛生費	
	大事業		環境衛生事業	
事項		生活衛生安全推進事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	遊泳用プールの衛生基準について、旅館業法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻村 光司 (488-5113)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	遊泳用プールの衛生基準等に基づき、利用者が快適、安全かつ衛生的に利用できることを目的とする。	全ての遊泳用プールに対し、衛生基準等に基づき、利用者が快適、安全かつ衛生的に利用できるように立入調査を行い、口頭及び書類による指導を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	監視対象施設数	22件	21件	21件		
	監視件数	24件	20件	件		
	監視率	109%	95%	%		

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	321	204	213	265	327		327		327		
	伸び率 (%)	-	-	-33.6%		53.5%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	2,880	2,174	2,170	3,495	3,492		3,492		3,492	
		非常勤職員	0	0	0	0	0		0		0	
		小計	2,880	2,174	2,170	3,495	3,492		3,492		3,492	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他	0	0	0	0	0		0		0		
	一般財源(税等)	321	204	213	265	327		327		327		
	所要人数	常勤職員	0.39	0.29	0.29	0.47	0.47		0.47		0.47	
		非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳												

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	監視数	年度目標値			22	21	21	21	21
		実績値			24	20			
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	109.0%	95.2%		
	届出数	年度目標値							
		実績値			1	0			
単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
成果指標	監視率 (監視数/全体数)				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値			100	100	100	100	100	
	実績値			109	95.2				
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	109.0%	95.2%		
	年度目標値								
	実績値								
単位		全体目標値		全体目標達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	常に遊泳用プールの安全衛生を保持させるため、引き続き、施設に対する監視・指導を行う。
「見直し」 「改善」案	